

抽象・幾何学文様

世界の民族衣装展



今年度 第3回目の世界の民族衣装展は「抽象・幾何学文様」と題し、抽象的な文様や幾何学的な文様が布に施された衣装や装飾品をご紹介します。

抽象的な柄をデザインする場合、物の形を強調したり、また反対に原型が想像できないほど簡略化され、全く新しい造形として表現されたりします。宗教上の理由により偶像を描くことが許されず、抽象的な柄として表現することもあります。抽象柄や幾何学柄を記号のように使用し、その民族での言い伝えや呪術的な意味を持たせ表現するものもあります。また、作り手のイメージでデザインとして柄を表現することもあるでしょう。それぞれの民族の特徴あるデザインが、織や染め、刺繍、アップリケなどで豊かに表現されています。

染織資料展では、代々受け継がれてきた衣装の技法や色彩等、美しく素晴らしい染織資料をご紹介します。是非この機会にご覧ください。

令和2年11月24日（火）～12月25日（金）

会場 桐生地域地場産業振興センター
4階「資料展示ホール」

開催時間 10:00～16:00

休館日 月曜日 入場料 無料



※ 今後の諸事情により会期の変更または中止となる場合がございます。